
日本エレクトロプレイティング・エンジニアスの液晶駆動 IC 用めっき液を 韓国の喜星金属が現地生産・供給開始

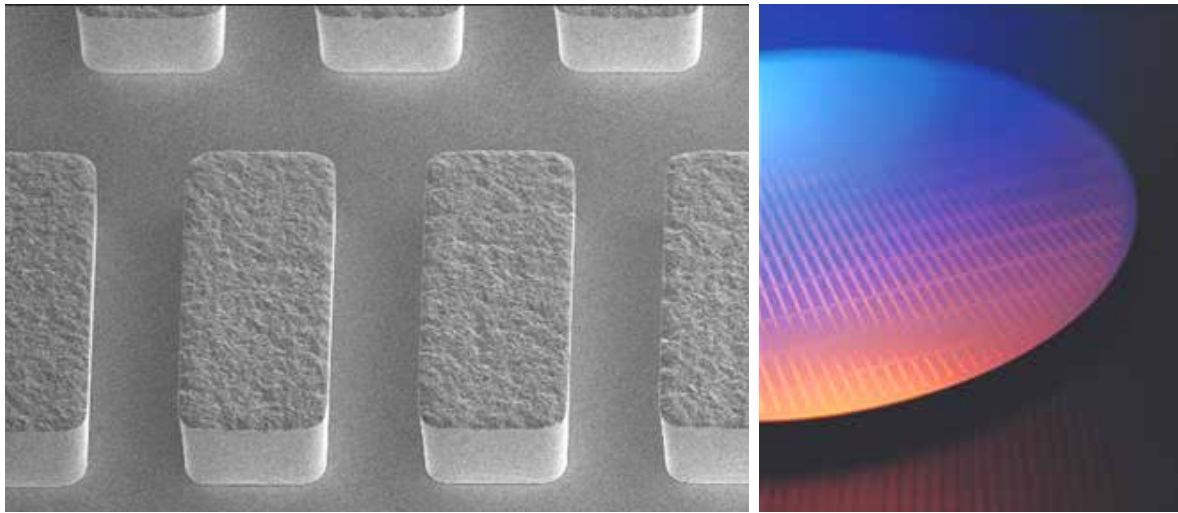
納期半減、BCP 強化、貴金属のリサイクル体制強化 韓国での液晶向け事業を強化

日本エレクトロプレイティング・エンジニアス株式会社⁽¹⁾(本社：神奈川県平塚市、代表取締役社長：内藤和正、以下 EEJA) は、2012 年 8 月 24 日より、田中貴金属グループの一社で、韓国の大手化学製品メーカーである喜星金属株式会社(本社：ソウル特別市、代表理事社長：権永濟)が、EEJA のノンシアン金めっき液を韓国市場向けに現地生産・供給することを発表します。

ノンシアン金めっき液は、液晶パネル向け駆動(ドライバー)IC のウェハバンププロセスに現在主流で使われている金めっき液です。韓国現地での生産・供給により、EEJA で生産する場合と比べて、韓国の現地顧客への納期を半分以下に短縮することが可能になります。また、EEJA と喜星金属がそれぞれ製品在庫を保管できるため、サプライチェーン(供給網)へのリスク分散として、自然災害や社会インフラの障害といった非常事態に対する BCP(事業継続計画)も強化することができます。

これまで EEJA では、製品販売とテクニカルサポートの機能を韓国に設置し、日本で製造しためっき液を韓国へ輸出しておりました。昨今、韓国の液晶産業が本格的に加速していることに伴い、EEJA では更なる販路拡大が見込めると判断し、ノンシアン金めっき液を喜星金属が韓国で生産・供給する契約を締結しました。喜星金属の設備投資額は約 5 億円で、これにより、従来は通常 10 日間程度であった納期を、5 日間以下にまで短縮できるため、よりスピーディな供給体制の下、現地顧客に密着して研究開発を支援することができます。また、輸送費を低コスト化できることに加え、現地生産化を確立したことで、回収した使用済み金めっき液を韓国国内で精製・再製品化することが可能になり、顧客は地金価格変動のリスクを低減させることができます。

EEJA では、喜星金属による現地生産・供給を通じ、液晶事業が盛んな韓国での増加する需要を取り込むことで、韓国における液晶駆動 IC 用金めっき液のシェアを、現在の約 60%から 2015 年までには約 80%にまで引き上げ、年間 120 億円の販売を目指します。なお EEJA は、技術開発の支援体制を強化するため、本年 1 月に、韓国でテクニカルサポートを行う研究施設を従来の約 1.8 倍となる 550 平方メートルに増床し、めっきプロセスの実験設備及び分析機器装置などを拡充しました。今後は、韓国の市場動向を見極めながら、液晶パネルのほか各種電子部品などに使われるノンシアン金めっき液の現地生産・供給も進めることで、更なる業容の拡大に努めてまいります。



ノンシアン金めっき液によるウェハバンプ形状例（幅30μm） 液晶パネル向け駆動ICのウェハ

- (1) TANAKA ホールディングス株式会社を持株会社とする田中貴金属グループにおいて、めっき事業を展開する企業

TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885 年

設立：1918 年

資本金：5 億円

グループ連結従業員数：3,456 名（2010 年度）

グループ連結売上高：8,910 億円（2010 年度）

グループの主な事業内容：貴金属地金（白金、金、銀 ほか）及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HP アドレス：<http://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<http://pro.tanaka.co.jp>（工業製品）

日本エレクトロプレATING・エンジニアーズ株式会社

略称：EEJA（Electroplating Engineers of Japan Ltd.）

本社：神奈川県平塚市新町 5-50

代表：代表取締役社長 内藤 和正

設立：1965 年

資本金：1 億円

従業員数：91 名（2011 年度）

売上高：257 億 3 千万円（2011 年度）

事業内容：

1. エンソ（Enthone）グループとの技術提携によるセルレックス（SEL-REX）貴金属・卑金属めっき液、添加剤および表面処理関連薬品の開発、製造、販売、輸出業
2. めっき装置の開発、製造、販売、輸出業
3. その他めっき関連製品の輸入、販売

HP アドレス：<http://www.eeja.com/>

喜星金属株式会社

本社： 大韓民国ソウル特別市中区 1 街 42 富林ビル 9 階

代表： 代表理事社長 権 永濟

設立： 1974 年

資本金： 3,065,700 千ウォン

従業員数： 355 名

売上高： 958,331 百万ウォン（2011 年度）

事業内容： 田中貴金属工業株式会社と韓国資本との合併企業として、自社技術に加え田中貴金属グループの技術をベースに電気接点やろう材、貴金属めっき材料等、広範な製品を提供

HP アドレス： <http://www.hsmetal.co.kr>

<田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは 1885 年（明治 18 年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。2010 年 4 月 1 日に TANAKA ホールディングス株式会社を持株会社（グループの親会社）とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともにスピーディな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサービス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、工業用貴金属材料の開発から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核 8 社は以下の通りです。

- ・ TANAKA ホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・ 田中貴金属工業株式会社
- ・ 田中貴金属インターナショナル株式会社
- ・ 田中貴金属販売株式会社
- ・ 日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社
- ・ 田中電子工業株式会社
- ・ 田中貴金属ビジネスサービス株式会社
- ・ 田中貴金属ジュエリー株式会社